

北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会（第4回）

議事要旨

1. 日時 平成20年9月2日（火） 14:30～
2. 場所 じばさん TAJIMA 4F 経営研修室
3. 出席者

| | | |
|-----|-------------------------------|--------|
| 座長 | 流通科学大学情報学部経済情報学科教授 | 西井 和夫 |
| 委員 | 兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 | 中瀬 勲 |
| | 兵庫県立コウノトリの郷公園田園生態研究部 主任研究員 | 大迫 義人 |
| | 豊岡市区長連合会会長 | 日下部 昌男 |
| | 豊岡市五荘地区区長会長 | 白谷 光利 |
| | 豊岡市奈佐地区区長会長 | 竹中 誠男 |
| | 豊岡市八条地区区長会長 | 尾畑 富久雄 |
| | 豊岡商工会議所会頭 | 宮垣 和生 |
| | 但馬豊岡観光協議会会長 | 西村 肇 |
| | 兵庫県但馬県民局県土整備部豊岡土木事務所長 | 大塚 純斎 |
| | 豊岡市都市整備部長 | 黒坂 勇 |
| | 豊岡市コウノトリ共生部長 | 太田垣 秀典 |
| | 豊岡河川国道事務所長 | 齋藤 博之 |
| 事務局 | 国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 | 工務第二課 |
4. はじめに
 - 1) 開会挨拶
 - 2) 座長挨拶
5. 議事要旨（主な意見）
 - 1) 第3回懇談会での意見と対応について
 - ・ 「コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮(案)」については、コウノトリ等のバードストライクに対する対応とすべきである。
 - ・ 詳細な構造（形状、色彩等）については、今後検討を進める。今回提案したフレーム状の柵構造は、ドライバーからの視認性、景観についても望ましい形状である。（内部景観、コウノトリと車の衝突防止の両面に対応できる）
 - ・ 「生物多様性の説明」について、「遺伝子」、「種」、「生態系」をキーワードとした一般的な考え方を補足すべきである。

2) 概略ルート（推奨案）

- ・ 3つの概略ルート（案）のうち、コウノトリのえさ場及び農地への影響が少なく、地形改変量が少なく、景観に優れ、軟弱地盤の通過延長が短い「①案（環境優良案）」を推奨案とする。
- ・ 現在、栃江の西側の水田地帯は、コウノトリのえさ場としては利用されていない。当該地域の通過区間については、将来のえさ場が広がる可能性を踏まえ、生物の生息環境の連続性に配慮した道路構造とすべきである。
- ・ 「①案（環境優良案）」が最も地域への影響が小さい案である。清掃センターの移転問題等により、整備スケジュールが遅れることがないようにしてほしい。

3) 北近畿豊岡自動車道「豊岡道路」懇談会【とりまとめ（案）】

- ・ 利用者の利便性（トイレ等の休憩施設の設置）、冬期交通の安全確保（堆雪幅の確保、待避所の設置等）について、ネットワークとして一体的に運用すべきである。
- ・ 「自然環境との調和」の中に、「環境への負荷の軽減」の項目を追加すべきである。
- ・ 「自然環境の連続性を保全できる環境整備」、「地形、集落等の景観への配慮」を懇談会意見として盛り込み、今後の環境影響評価等の段階へ確実に引き継ぐようにする。
- ・ 今後増加する外国人観光客への対応（道路標識の英文標記等）についても取り組むべきである。
- ・ 本日の懇談会でいただいた意見の主旨を踏まえ、事務局及び座長の方で若干の修正を加えた上で、「とりまとめ」の最終版とする。

6. 今後の予定

- ・ 今回（第4回）で本懇談会を終了する。
- ・ 「とりまとめ」については豊岡河川国道事務所のホームページで公開する。
- ・ 豊岡市広報（9/25号）に「とりまとめの概要」を掲載予定である。

以 上